



マイカーは県下の普及率



富士市民の自動車保有台数は、昭和63年4月1日現在で、15万2,892台です。この数は、浜松市・静岡市・清水市に次いで県内4位で6.2%を占めています。これを自動車1台当たりの人口にすると3.5人に1台となり、県下で最も高い普及率です。富士市に続いて高いのは富士宮市で、3.6人に1台となっており、富士地区が県下で最も乗用者が普及しているといえます。

また、1台当たりの世帯数では、芝川町の0.9世帯に1台に次いで1.0世帯に1台となっています。富士市民は数字の上では一家に1台マイカーを持っていることとなります。



△毎年行っている献血 (写真は去年の献血から)

元吉原地区を中心にして社会奉仕活動が続いている元吉原レンドークラブ（渡辺益久会長・会員二十九人）は、十月二十七日、献血を行います。献血場所は、東田子の浦駅前・大野町農協横・鈴川中町公園・吉原駅北口です。献血協力者にはクラブから粗品を進呈します。どうぞ御協力ください。時間等の問い合わせは北村さんへ ☎三三三〇四〇八

元吉原レンドークラブの 献血に御協力を

九月六日、一色の岩月るみ子さん（桐朋学園大学一年）は大学の先輩安間秋津さんとともに、精神薄弱者の施設市立くすの木学園とふじやま学園を訪れ、園生にバイオリンを披露しました。

「将来はプロを目指す」という岩月さんですが施設訪問は初めて。「キラキラ星変奏曲」など七曲を演奏し、子供たちの盛んな拍子を受けました。岩月さんは園生の純粋な目に感動。「今後、定期的に訪れたい」と張り切っています。

市立くすの木学園で バイオリンを披露



岩月るみ子さん



望月香里さん

望月香里さん（富士南中三年）は、富士市統計グラフコンクールで市長賞を受賞しました。作品は応募百二十一点の中から選ばれたもので、田子の浦港と清水港の入港船数などを比較しました。

「この夏、青少年の船に乗ったので、海に関するグラフができたのかな」と考えたのがきっかけで、清水港の港湾事務所まで資料集めに行きました。一昨年の市長賞、昨年の議長賞に続く受賞に、「有終の美が飾れました」と満足げ。

統計グラフコンクールで 市長賞を受賞

「単にスペイン語圏に興味のある人の集まりで、メンバーは学生や主婦、フラメンコに興味のある人などいろいろ。ですから、和気あいあいと楽しい活動を心がけています。今回はドミニカ出身で岩松にお住まいのグラデュス渡辺さん（もちろんメンバーの一人）を中心にドミニカ料理教室を開きました」と代表の井上みよ子さん。

ドミンゴ・エスパニョールとはスペインの休日という意味。スペインに滞在経験を持つ井上さんが、スペインに熱い思いを寄せる人同志の交流を目的にして、ことしの二月に結成しました。現在十九歳〜六十六歳まで、二十二人で構成されています。定例会は毎月第一日曜日。通常はスペイン語の学習やビデオ鑑賞、中南米の国々の皆さんと



スペイン語圏に 思いをはせて

ドミンゴ・エスパニョールの皆さん

定例会会場の富士公民館は、エキゾチックな香りに包まれ、見たことのない料理が並びました。

「単にスペイン語圏に興味のある人の集まりで、メンバーは学生や主婦、フラメンコに興味のある人などいろいろ。ですから、和気あいあいと楽しい活動を心がけています。今回はドミニカ出身で岩松にお住まいのグラデュス渡辺さん（もちろんメンバーの一人）を中心にドミニカ料理教室を開きました」と代表の井上みよ子さん。

＜ポージョギサードという鳥肉料理を囲んで、いただきます＞



の交流などを行っています。グループの皆さんは「スペイン語圏の皆さんの素直な喜怒哀楽表現や、時間に縛られない生活は忘れられません」と魅力を語ります。

ソウルの次のオリソピックはスペインのバルセロナ。皆さんもスペイン語圏に興味を持ってみませんか。